



通り沿いのカフェ内部から石井家を見る



通りから見える石井家



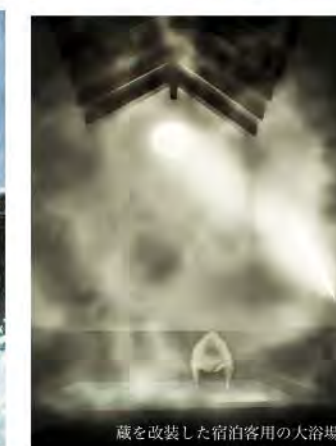
入り口からみる庭園の眺め



庭園入り口より探観をみる



カフェ回廊より庭園をみる



蔵を改装した宿泊用の大浴場

Garden & Cafe



我々は石井家の存在を強調しながらも、佇まいや静けさを護る為の壁で囲われた庭園をもつカフェを提案する。

今回、石井家を含めたこの庭園を函館の観光名所の一つとするため一般開放する。また、石井家を維持保存するために貸切り宿にし、道路に面した敷地にはカフェをつくり収益をまかなう。

函館は一つの街の中で様々な体験が出来る観光地である。その一面を**屏で囲い込み**、そこにぎやかな函館から切り離された**静かな空間**を発生させる。入れ子状になった「**観光地のなかのもうひとつの観光地**」を生み出す。それにより、カフェ、そして庭園を含むこの石井家は、この街において、歴史保存とくつろぎを提供する特別な存在となる。

事業計画

「絆を深める貸切の宿（事業計画一方案）」参考点と変更点
 参考点：貸し切り宿に石井家の管理を兼ねたカフェを併設する。
 変更点：既存の**倉を宿泊客のための風呂**へ、キッチンには宿泊客が自炊できるようにそのままにした。カフェには従業員と施設総括管理者が常駐する。

建築（カフェ）

併設するカフェは石井家の存在感を損なわないよう考慮した。また**石井家を顕在化**させることにより、ガラス張りにしてただ開くだけでは何気なく見て通り過ぎるような人々にも、石井家をより意識してもらうことを目指した。構成は既存の屏の延長をイメージし石井家を録取る様に設計した。

庭園

カフェのコンセプトより敷地内に余白が生まれる。そこに庭園を設計し観光客を呼び込む大きな要因として扱う。この庭に植える植物は主に北海道の寒さにも耐えうるもの扱う。

地域住民の参加を考える

大きく分けて二つの行為で**地域住民との連携**をはかる。
 1. **地域住民と共に植栽を植え、日常的に手入れ**をする。それにより地域住民に**石井家保存の意識**が芽生える。
 2. コスト削減のため敷石の代わりに近隣のレストランや住宅で出た**貝殻を回収し、細かく砕いたものを庭の動線部に敷く**。これらをカフェの開店の前段階で行う事で、地域住民とのコミュニケーション（宣伝広告を兼ねた）が生まれ、「**地域住民の庭**」となる。さらに、貝殻の主成分であるカルシウムは植物の**肥料**となるため、寒さの厳しい函館においても、植物に冬を乗り切る力を与えることが出来る。

1. 参加型造園

地域住民は庭園への苗植えや手入れを通して、身近に存在する植物のを知ることができる。



庭の手入れをする函館の人々

2. 地域への貢献、そして栄養源としての貝殻
 函館で獲れる北寄貝、つぶ貝などの貝殻を市場やレストランなどから集め、それを敷くことで敷石とする。その貝殻はエントランスでは白い道が人々を導き、中庭では草花の肥料としての役割を果たす。



貝を砕く子供達



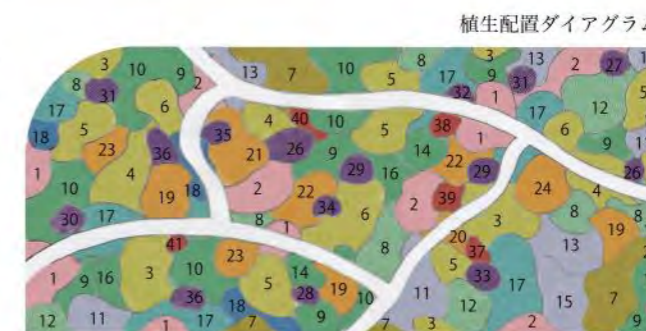
実施例：楕内「白い道」

造園計画

屋外で過ごしやすい春や夏は庭の中でくつろぐことができるように庭園全体に春夏に花を咲かせる植物を配置し、ハーブはそれぞれの香りが邪魔しないよう離して配置し、風景と香りを楽しむことができる。また屋内で過ごすことが多い秋や冬は背の高い植物を中央付近に配置し観賞するための庭となるようにした。**季節によって石井家と共に様々な風景を生み出す庭園**である。

植栽リスト

- 1 蝦夷延胡索 2 綿苧 3 先代萩 4 蝦夷黄萱 5 蝦夷葱 6 蝦夷紫 7 蝦夷花忍
- 8 紅輪蒲公英 9 車百合 10 白山防風 11 古守銅草 12 樺太比翼草 13 立擬宝珠 14 千島菊 15 峠路 16 反魂草 17 高嶺唐打草 18 蝦夷松虫草 19 蝦夷の狐菊 20 野原菊 21 蝦夷野紺菊 22 蝦夷胡麻菜 23 岩蓬 24 蝦夷竜胆
- 25 ニゲラ 26 マリーゴールド 27 クローバーレド 28 セージ 29 エキナセア 30 アルカネット 31 ヤロウ 32 アニスヒソップ 33 ベルガモット 34 チリコ 35 アーティチョーク 36 タンジー 37 イチゴ 38 ハスカップ 39 ラズベリー 40 カシス 41 ブルーベリー



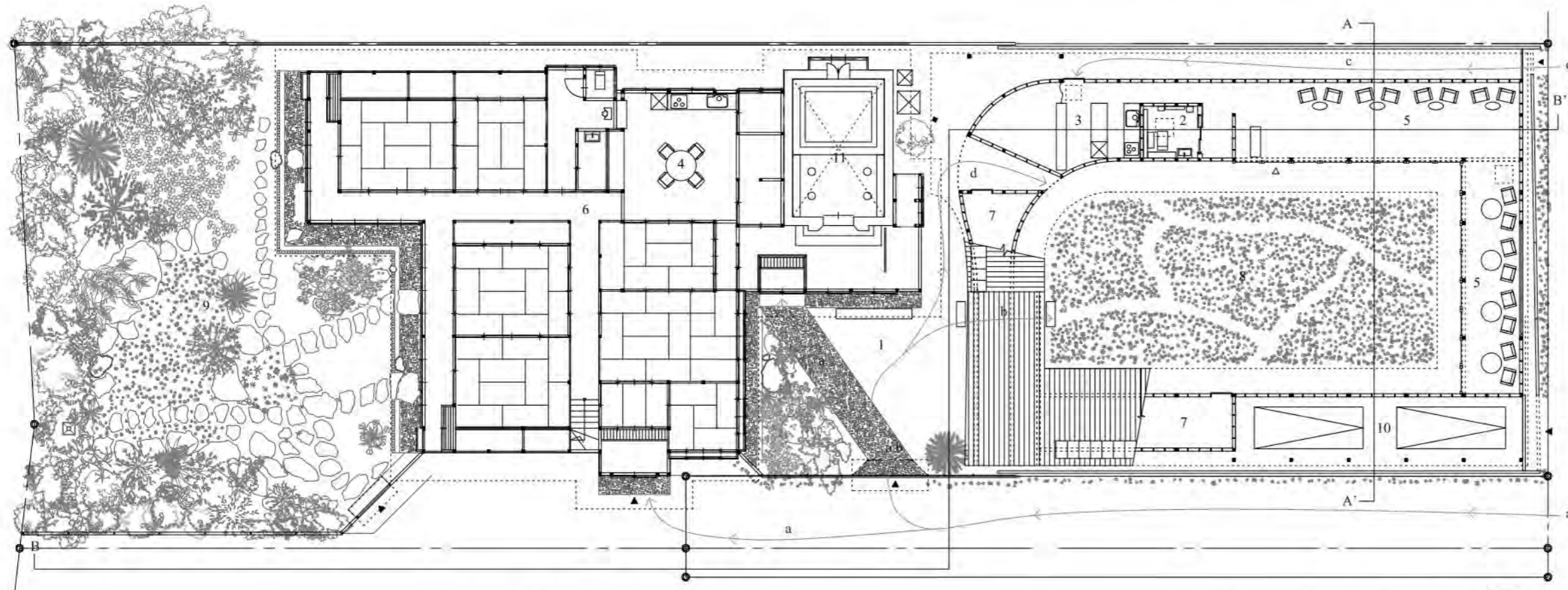
植栽イメージ



概算工費

「絆を深める貸切の宿」と比べ、新築費用はかかるが、**カフェの席数が多く**、収益によりそれをまかない、市民参加によって**ラーニングコストを削減**している。またメインテーマとなる中庭を中心に予算を算定した。

建物概算	金額
新築（カフェ）建設費	18,346,500
石井家改修費用	10,000,000
植栽概算	
金額	
庭 春の植栽	171,039
夏	198,708
秋	82,480
冬	28,754
ハーブ	28,754
果実	33,225
その他植栽	97,760
掘削・スキトリ	40,000
残土処分	
場外産廃処分	162,000
敷地内整地	60,960
重機械搬入	40,000
振料	
作業人件費	675,000
黒土	608,076
運搬	162,000
合計	2,360,002
合計	30,706,502



- 動線計画**
管理用動線を明確に分ける。
- a. 宿泊客
 - b. カフェ利用者
 - c. 管理
 - d. 身障者の方・冬期

- 平面計画**
- 1. Entrance ——— 既存の門を活用
 - 2. Toilet
 - 3. Staff room
 - 4. Kitchen ——— 宿泊客用キッチン
 - 5. Cafe ——— 家具の一部は石井家のものを利用
 - 6. Hotel ——— 貸切の宿（予約のない日は見学可）
 - 7. Storage
 - 8. Garden ——— カフェと日本庭園をつなぐ
 - 9. Japanese-style garden
 - 10. Parking
 - 11. bath room ——— 蔵を改修し、大浴場へ

建築概要

- ・構造形式：木造軸組（SE構法）
- ・諸設備説明：冬期は暖炉を設置（カフェ）
- ・風呂場設備：重油オイルタンク・ボイラー（それらを蔵北東部に設置し、オイル交換用の動線を確保した）

面積表	
敷地面積	1,245.77㎡
建築面積	134.55㎡（新築）+268.24㎡（石井家）=402.79㎡
建蔽率	32.3% < 60%



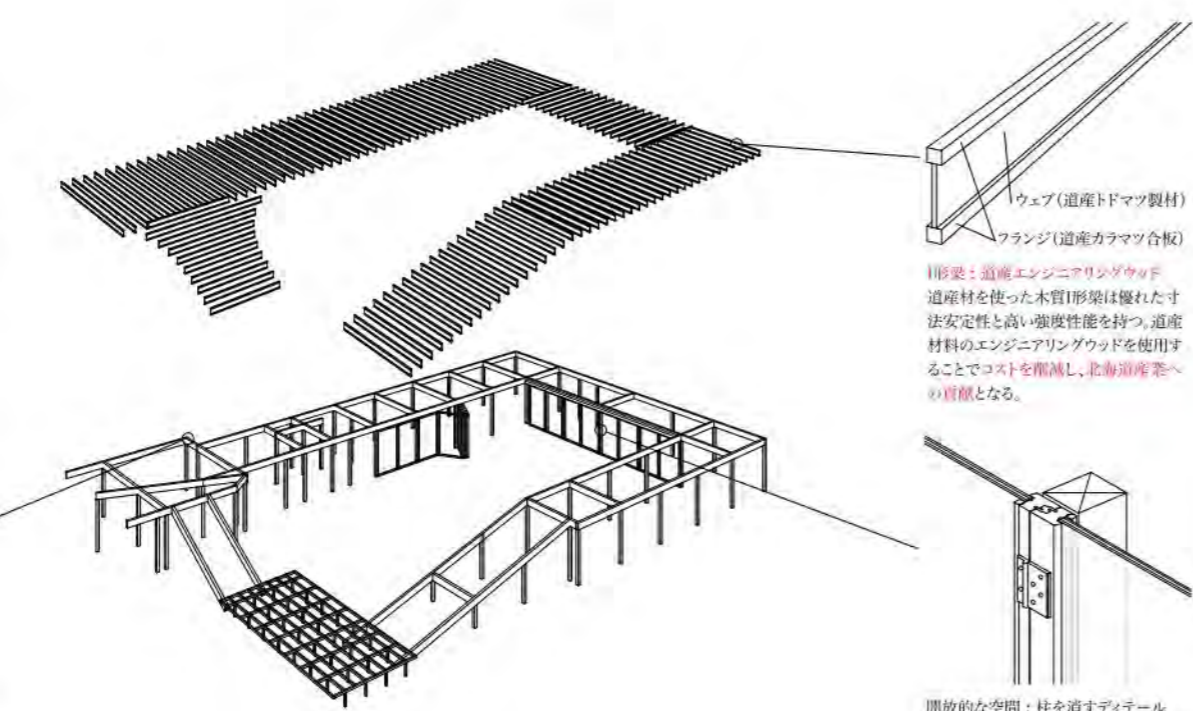
South-East section S=1/200



North-East section S=1/200

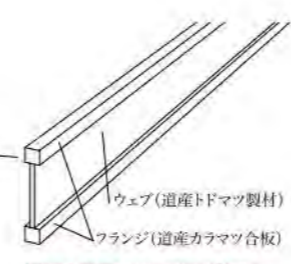
Isometric

この建築は中庭を取り囲むように口の字型に配されている。さらに石井家の美しい外観をより一層引き立てる様に屋根の一部が低くなり、縁側のように見える。その構造はシンプルで、柱、梁による木造軸組（SE構法）の構造の上にエンジニアリングウッドの形梁を455mmのスパンドで並べる。その構造はシンプルかつ両館の積雪にも耐える強固なものであり、内・外が一体となる開放的な空間を生み出す。

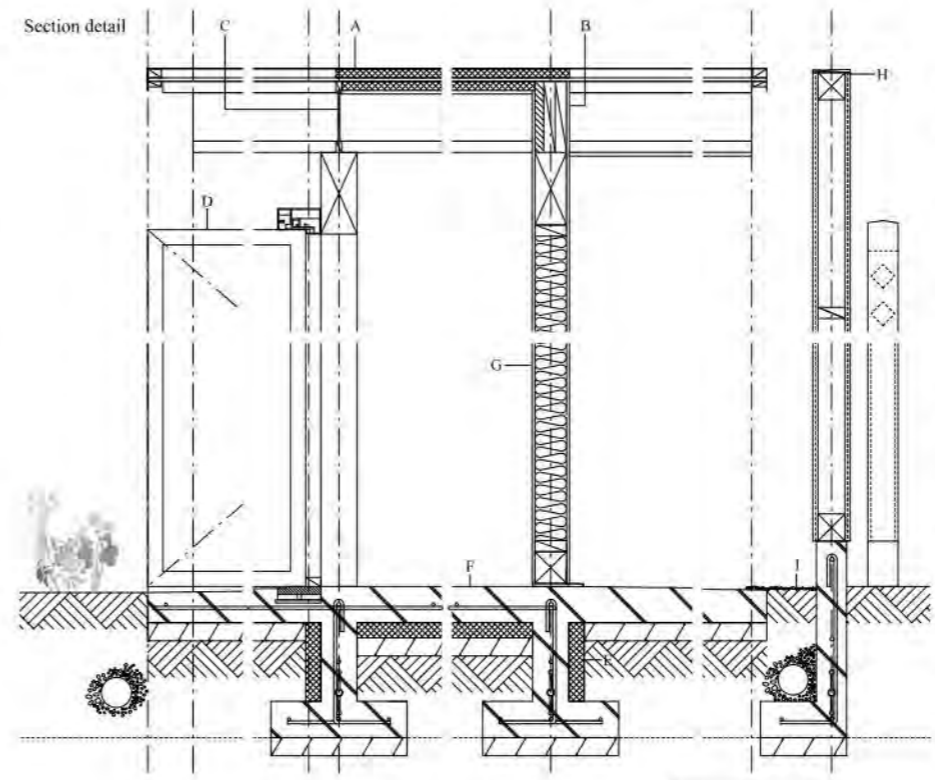


構造フレーム図
木造軸組（SE構法）+ I形梁

SE構法：接合部
強度の高い集成材の接合部に、金物を用いる構法は、従来の軸組工法と比較して、断面欠損の少ない・強固な接合部を生み出す。接合部が強固であることにより、柱と梁のみで強固な骨組みを生み出すことが出来る。SE構法を用いることにより、高い生産安定性を保つことができる。



開放的な空間：柱を消すディテール
中庭に開く大きな開口部は木製サッシで折戸の連窓となっている。柱と木製サッシを視覚的に一体化させることで、より層間開放感を高める。



section detail S=1/25

- 使用部材リスト**
- A. 屋根：ガルバリウム鋼板 t=0.5mm、断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=30mm、構造用合板 t=12mm、胴縁：30×45mm（広小舞）、胴縁：18×45mm（鼻隠し）、水切り：ガルバリウム鋼板 t=0.5mm、断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=20mm、天井：ラージ構造用合板 t=12mm
 - B. 外壁：ラージ合板素地貼（防雨塗装）t=9mm、防水紙、ころび止め：2-210（38×235mm、気密材：28×235mm、内壁：ラージ合板素地貼 t=9mm、1型梁：エンジニアリングウッド材 42×235mm、大梁：105×240mm、柱：105×105mm
 - C. 窓枠（ころび止め）：20×37.5mm、はめ殺し窓：ポリカーボネイト板 t=2mm
 - D. 連続折戸（製作品）、大梁：120×270mm
 - E. 基礎：コンクリート打放し t=120mm（D=10）、切込砂利 t=60mm、断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=50mm
 - F. 床：コンクリート打放しスラブ t=120mm（D=10）、断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板 t=50mm、ポリエチレンフィルム t=0.2mm 2枚敷き、切込砂利 t=60mm、埋め戻し
 - G. 内壁：吹込用グラスウール断熱材 t=105
 - H. 笠木：10×124mm、壁面：杉材（平板棒当て貼）、梁：90×90、胴差：37×90
 - I. 犬走り：粉砕貝殻、暗渠用透水パイプφ100、切込砕石、止水板

その他
風呂場内部：壁面・漆喰仕上げ、低層部・石貼、梁・防雨処理。
カフェ通り扱い：アクリル板。